

令和 7 年度版『伝え合う言葉 中学国語 2』年間指導計画・評価計画（案）

〔第 2 学年〕目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

凡例

ま	教科書記載のまなびリンク（二次元コード）の活用が有効なところ
教	P00 教科書の関連ページを参照
ICT	ICT の活用が有効なところ

指導 時期	単 元	教材名	配 当 時 数 ()内は含 まれる領域 の 時 数	教材目標	学習活動の流れ *は学習活動の留意点	学習指導要領との対応		評価規準(例)
						知識及び 技能	思考力、判断力、 表現力等	
4 月	一	虹の足	1	- 情景を表す比喩や象徴、言葉などに注意して読む。 - 目の前に見えた「虹の足」から、隠れたその意味について考える。	1 「虹の足」などの比喩表現が表しているものを考えながら、この詩にこめられた「僕」の発見を読み取り、意見を交流する。 *「虹の足」と「幸福」の共通点は何か、「僕」の発見を本文から抜き出させ、発見をどう思うか話し合わせる。		(1)エ C(1)イ◎ C(2)イ	【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。〔C(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで登場人物の言動の意味を考え、今までの学習を生かして考えたことをノートにまとめようとしている。
		【話す聞く】 いろいろな立場や考えを踏まえる	話聞 1	異なる立場や考えを取り上げて、ニュースやできごとの紹介をする。	1 最近のニュースについて新聞やインターネットで調べ、グループになって調べたことを発表し合う。ニュースについて聞き手はどう考えるか、発表した立場や考えとは異なる立場や考えはあるか、話し合う。 *自分の意見や考えについて、異なる意見や立場の人にも受け入れられるように説明するためには、どのような情報をどのように伝えればよいかを予測する。	ICT	(1)ア A(1)ア◎ A(1)イ A(2)ア	【知識・技能】 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付いている。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。〔A(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
		タオル	5	文学的な表現を通じて語感を磨き、語彙を豊かにする。	1 学習の見通しをもち、目標を確認するとともに、「学びナビ」を確認して「象徴」について理解する。作品全文を	ま	(1)エ C(1)ア◎ C(1)イ C(2)イ	【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)エ〕

				登場人物の設定の仕方や人物どうしの関係を捉える。	通読し、初読の気づきを表現する。 2・3 着目する登場人物を定め、情景や心情・象徴を手がかりに読みを深める。 *本文中から象徴的な表現を探させ、登場人物に関係しているような象徴的な表現があるかを確認させる。 4 互いの読み深めた結果をもち寄って作品に対する気づきを深めると同時に、自らの読みをもつ。 5 本教材での学習をとおしてどのようなことがしたくなったかを表現させ、今後の展望や学びのイメージを話し合う。				【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。〔C(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。
5月	文法の小窓1 活用のない自立語	2	活用のない自立語のはたらきを理解する。	1 P38『文法の小窓1』を読む。名詞、連体詞、副詞の種類と用法について理解を深める。 2 接続詞、感動詞の種類や用法について理解を深める。『文法の小窓1』に戻り、しりとりで使える言葉のきまりを話し合う。		(1)オ◎			【知識・技能】 ◎単語の活用について理解を深めている。〔(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に活用のない自立語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
	【書く】 新聞の投書を書く	書5	- さまざまな情報の集め方を理解し、活用する。 - 社会生活の中から題材を決め、材料を整理し、伝えたいことを明確にする。	1 社会生活に目を向けて課題を設定する。 2 選んだ課題についての材料を集める。 *材料を集めるために、イメージマップを用いて、話題から連想できることを書き出したり、学校図書館と連携したり、パソコンやタブレット端末などを用意したりすることで、必要な情報が収集できるようにする。 3 集めた材料を使い、文章を書く。 4 読み手の立場に立ち、表現の効果などを確かめて文章を推敲する。	ま ICT	(2)イ	B(1)ア◎ B(2)ア		【知識・技能】 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。

					5 書いた文章を友達と読み合い、題材の選び方や集めた材料について、感想を共有する。				
		漢字の広場 1 まちがえやすい漢字	1	似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深める。	1 似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深め、正しい字形で漢字を書く。		(1)ウ◎		【知識・技能】 ◎第一学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 [(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
6月	二	日本の花火の楽しみ	3	- 意見と根拠などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 - 主張と例示の関係を捉え、説明の仕方という観点に着目して読み比べる。	1 学習目標を確認して「学びナビ」を読み、「読み比べ」について理解する。全文を通読して構成を捉え、気づいたことや考えたことをまとめる。文章全体の問いと答えを探し出し、筆者の主張を捉える。 2 理想の花火を目ざし「花火玉の構造」「理想の開き方・消え方」について、それぞれ職人が施している工夫をまとめ、筆者の論理の展開、表現や説明の仕方の工夫・意図を考える。 * 写真や図と本文との対応を、段落の内容に注意しながら確認させる。 3 筆者の考える日本の花火の楽しみについてまとめ、筆者の考えに対する自分の考えを文章にまとめる。	ま	(2)ア	C(1)ア C(1)ウ C(1)エ◎ C(2)ア	【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 [(2)ア] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 [C(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。

	水の山 富士山	4	- 意見と根拠などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 - 主張と例示の関係を捉え、説明の仕方という観点に着目して読み比べる。	1 学習目標を確認して「学びナビ」を読み、「読み比べ」について理解する。全文を通読して構成を捉え、気づいたことや考えたことをまとめる。文章全体の問いと答えを探し出し、筆者の主張を捉える。 2 二つの問いと答えを、図を活用しながら理解する。 3 筆者が「水の山 富士山」という題名をつけたことに対する、自分の考えを書く。 4 『日本の花火の楽しみ』と比較し、構成や説明の仕方の違いについて自分の考えをもつ。 *「構成」「具体例や説明の仕方」「言葉・表現」「図・写真」の四つの観点を示したワークシートを準備し、二つの文章の説明の仕方の観点到って比較させる。	ま	(2)ア	C(1)ア C(1)ウ C(1)エ◎ C(2)ア	【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。〔C(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。
	【話す聞く】課題を設定して伝える	話聞3	- 情報の関係を踏まえ、根拠の適切さや論の展開に注意して話を構成する。 - 資料や機器などを用いて自分の考えをわかりやすく伝える。	1 「学びナビ」を読んで本教材のねらいを理解し、日常生活や自分自身の興味・関心をもとに取り上げるテーマと主張したいことを決める。 2 意見と根拠の関係を踏まえ、根拠の適切さや論理の展開などに注意して話の構成を考える。 *収集した情報（事実・根拠）と自分の考え（意見）を分け、それぞれを観点別に分類させ、自分と異なる立場や考えを想定し、整理させる。 3 図やグラフを用いて発表し合い、発表の仕方について振り返る。	ま ICT	(2)ア	A(1)イ◎ A(1)ウ A(2)ア	【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。〔A(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に根拠の適切さや論理の展開などに注意し、学習の見通しをもって考えを述べようとしている。
	言葉の小窓1 敬語	1	敬語のはたらきや特徴について知る。	1 『言葉の小窓1』を読み、敬語のはたらきと用法について理解しつつ、敬語を使って	ま ま	(1)ア (1)カ◎		【知識・技能】 ◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。〔(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く敬語のはたらきや特徴について理解し、学習課題

		言葉の小窓 2 話し言葉と書き言葉 言葉（解説）2 話し言葉と書き言葉	1	話し言葉と書き言葉の、それぞれの特徴を捉える。	1 P 82『言葉の小窓 2』を読み課題意識をもつ。P 281～283『話し言葉と書き言葉』を読み、話し言葉と書き言葉の違いを考える。	ま ま	(1)ア (1)イ◎		【知識・技能】 ◎話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。〔(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く話し言葉や書き言葉の特徴について理解し、学習課題にそって話や文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
		【話す聞く】 相違点を明確にして聞く	話聞 4	- 情報の表し方を捉え、論理の展開に注意しながら聞く。 - 話し手と自分の考えを比較しながら自分の考えをもつ。	1 学習目標を確認して「学びナビ」を読み、「相違点を明確にする」ことについて理解する。テーマについてグループで意見を出し合う。 2 課題解決に向けて情報を集めて、自分の考えを整理する。 3 図やグラフを用いて発表し合い、共通点や相違点を意識しながらスピーチを聞く。 *聞き手はスピーチを聞き、自分の考えとの共通点・相違点を整理したり、話し手の考えに説得力があったか、共感できたかを判断したりする。 4 発表の仕方について振り返りを行い、自分の考えと他の人の考えとの相違点を踏まえながら、テーマに関して改めて自分の意見をもつ。	ま	(2)イ	A(1)エ◎ A(2)ア	【知識・技能】 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。〔A(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって説明しようとしている。
		SNSから自由になるために／脚本で動きを説明する	2（書 1）	- さまざまな種類の文章を構成する情報を整理し、それぞれの特徴を理解する。 - 文章の目的の違いを理解し、SNSの効果を考えたり、小説を脚本に書きかえたりする。	1 学習目標を確認して『SNSから自由になるために』を読み、SNSの性質を知り筆者の主張を捉えインターネットでの表現のあり方について考える。 2 小説と脚本の違いを知り、任意の小説の一節を脚本に書きかえる。	ま ICT	(1)ア (2)イ	C(1)イ◎ C(2)ウ B(1)ア B(2)ウ	【知識・技能】 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。〔B(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。〔C(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで目的に応じて複数の情報を整理して適切な情報を得て、学習の見通しをもって脚本を創作しようとしている。

		漢字の広場 2 漢字の成り立ち	1	漢字の成り立ちについての理解を深める。	1 漢字の六種類の成り立ちを理解し、身のまわりの漢字を分類する。		(1)ウ◎		【知識・技能】 ◎第一学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 [(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
9月	四	持続可能な未来を創るために——不平等のない社会を考える／「ここにいる」を言う意味	3 (話聞1書1)	持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動する。	1 学習目標を確認し、教科書P96～98を読んで「最初の『問い』」を考える。 2 教科2・書P99～101を読み、「次の『問い』」について話し合う。 3 教科書P102～105を読み、「最後の『問い』」について話し合い、自分の考えを表現する。 *他者の意見の中から自分の意見と類似するものをあげ、その根拠となった自分の体験とひもづけさせる。	ま ま ま ま ま	(2)ア (2)イ	A(1)イ◎ A(2)イ B(1)ウ◎ B(2)ア C(1)エ C(1)オ◎ C(2)ア C(2)ウ	【知識・技能】 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。 [(2)イ] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 [C(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって議論しようとしている。
		紙の建築	5	- 具体と抽象などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 - 事例の役割や効果を確認、得られた情報を整理しながら読む。	1 学習目標を確認して「学びナビ」を読み、「事例と論の展開」について理解する。本文のあらましを捉える。 2 本文を読んでキーワードを抜き出し、文章全体の構成を理解する。 3 本文における事例の役割や効果を確認しながら事例と主張を関連づけ、筆者の行動とそれを支える信念を捉える。 4 筆者の考えを踏まえながら、社会の中で働くことについて自分の考えを文章にまとめる。 5 文章にまとめたものをもとに社会の中で働くことについて話し合い、広い視野をもったり自分の考えを深めたりする。	ま	(2)ア	C(1)ア C(1)イ◎ C(1)オ C(2)ア	【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 [(2)ア] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。 [C(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって説明しようとしている。

		【書く】 構成を明確にして説明文を書く	書 5	- 情報どうしの関係についてさまざまな表し方を理解し、活用する。 - 段落相互の関係を明確にし、文章の構成や展開を工夫する。	1 自分の興味、関心があることから題材を決めて、集めた材料を整理する。 2 文章の構成を考える。 * 「始め—中—終わり」の三段落を、それぞれ「序論—本論—結論」という構成にすることのよさを考えるよう促す。 3 構成を意識して、文章を書く。 4 構成の工夫を確かめて、文章を整える。 5 他の学習者と読み合い、読み手の助言を踏まえて、自分の説明文のよい点や課題点を見いだす。	ま ICT	(2)イ	B(1)イ◎ B(2)ア	【知識・技能】 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。
		文法の小窓 2 活用のある自立語 文法（解説） 2 活用のある自立語	2	用言の活用と種類・用法を理解する。	1 P120『文法の小窓 2』を読み、活用のある自立語について理解を深める。P 294～296の解説を参考に、動詞の活用について理解を深める。 2 P 297～300 の解説を参考に、動詞の種類や、形容詞や形容動詞の活用について理解を深める。		(1)オ◎		【知識・技能】 ◎単語の活用について理解を深めている。〔(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く自立語の活用について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
10 月	五	敦盛の最期	4	- 歴史的仮名遣いに注意し、文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。 - 登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。	1 学習目標を確認し、『平家物語』冒頭を歴史的仮名遣いに注意して音読して、『平家物語』の中心思想を理解する。 2 『敦盛の最期』を歴史的仮名遣いに注意して音読し、登場人物の言動や心情について話し合う。 * 解説文の朗読データを準備しておき、視聴する時間を設けることで朗読のイメージを具体的にもたせることができる。 3 登場人物の人物像について話し合う。 4 記述を根拠にして登場人物の心情を読み取ったあと、一	ま ま ま	(3)ア◎ (3)イ	C(1)ア◎ C(2)イ	【知識・技能】 ◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。〔(3)ア〕 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。〔C(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く歴史的仮名遣いに注意して読み、これまでの学習を踏まえ、作品の特徴を生かして朗読しようとしている。

					人で、あるいは役割を決めて朗読し、作品世界を味わう。				
		随筆の味わい	3	- 歴史的仮名遣いに注意して、言葉の意味を正確に読み、作者の思いを想像する。 - 作者のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。	1 学習目標を確認したあと歴史的仮名遣いに注意しながら音読し、どのような季節感や人間観が述べられているか課題をもつ。 2 『枕草子』を読んで季節の情景を捉え、感想を交流する。 3 『徒然草』を読んで作者の人間観を捉え、それに対する自分の考えを文章にまとめる。	ま ま ま ま ま	(3)イ◎	C(1)イ◎ C(1)オ C(2)イ	【知識・技能】 ◎現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 [(3)イ] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。 [C(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。
		二千五百年前からのメッセージ	3	- 音読をとおして漢文の表現に慣れる。 『論語』を読んで、孔子の考えを捉える。	1 学習目標を確認して書き下し文を音読したり、現代語訳を確認したりすることで、各章句の意味を捉える。 2 教科書の章句の中から一つ選び、そのよさを書いたうえで、話し合う。 3 好きな孔子の言葉を他にも探して、『論語』の言葉で心に響いた表現や内容についての自分の考えを文章にまとめ、紹介し合う。	ま ま	(3)ア◎	C(1)ア C(1)オ◎ C(2)イ	【知識・技能】 ◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 [(3)ア] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 [C(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題にそって解釈したことを表現しようとしている。
		坊っちゃん	2	わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	1 目標を確認して『坊っちゃん』を読み、作品の特色について意見を交流する。 2 「俺」の人物像を踏まえて、『坊っちゃん』の続きを考える。	ま	(3)エ◎	C(1)ア C(1)イ◎ C(2)イ	【知識・技能】 ◎本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 [(3)エ] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 [C(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで内容を解釈し、学習の見通しをもって、複数の情報を整理しながら考えたことを提案しようとしている。
六		短歌の味わい	2 (書1)	- 情景や心情を表す言葉に注意して読む。 - 作品に描かれた固有の情景や心	1 『短歌の味わい』を読み、「短歌十首」の中から印象に残った短歌を選び、その短歌がなぜ印象に残ったのかを話し合う。	ま	(1)エ	C(1)ア C(1)イ◎ C(2)イ B(1)ウ B(2)ウ	【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)エ] 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするな

				情のもつ意味を 考える。	*言葉の選び方や組み合わせ方に に注目したり、自分の知識や 経験などと結びつけたりしな がら、どの短歌のどこが特に 印象に残ったのか発表させ る。 2 コラム「少しだけ変えてみ る」を読み、表現の違いによ って描かれる世界に大きな違 いが生まれることを理解す る。コラムの内容を踏まえて、 短歌を創作する。				ど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫 している。〔B(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」におい て、登場人物の言動の意味などについて考え て、内容を解釈している。〔C(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで内 容を味わい、今までの学習を生かして短歌を創 作しようとしている。
11 月	夏の葬列	6	● 人物の心情や場 面に応じた言葉 の使われ方を理 解する。 ● 時間の順序に留 意し、人物の心 情の変化や言動 の意味を考え、 作品を解釈す る。	1 目標を確認して、「学びナ ビ」を読み、「時間と構成」 について理解する。全文を通 して読み、語句を調べなが ら、あらすじを把握する。 2 物語の展開を捉え、感想の 交流をとおして読みの課題を 設定する。 3 人物の心情の変化を捉え、 それについて感想を交流す る。 4 主人公の人称の使い分けを 比較し、その効果について話 し合う。 5 物語の構成や展開、表現の 工夫がどのような効果をもた らしているか考える。 6 結末部分について考えを深 め、話し合いをする。 *「彼」の心情を端的に表して いる語句に印をつけさせ、発 表させて板書にまとめる。抽 象的な表現については、それ が具体的に何を表しているの か、学習者とのやりとりの中 で確認していく。	ま	(1)エ	C(1)イ◎ C(1)エ C(2)イ	【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量 を増し、話や文章の中で使うことを通して、語 感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」におい て、登場人物の言動の意味などについて考え て、内容を解釈している。〔C(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く時 間の流れや場面の展開などの構造を捉え、学習 課題にそって考えたことを提案しようとしてい る。	
	映像作品の表 現を考える	1	● 絵コンテを構成 する情報を整理 し、理解する。 ● 漫画と絵コンテ の描写の違いを 理解する。	1 絵コンテの仕組みや特徴に ついて知り、原作の漫画と絵 コンテの違いを考える。 *絵コンテを構成するさまざま な情報が、どのような目的や	ICT	(2)イ	C(1)イ◎ C(1)ウ C(2)イ	【知識・技能】 情報と情報との関係の様々な 表し方を理解し使っている。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」におい て、目的に応じて複数の情報を整理しながら適 切な情報を得たり、登場人物の言動の意味など	

					効果をもつか考えるようにする。				について考えたりして、内容を解釈している。 〔C(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に映像作品の表現の特徴について理解し、学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。
		漢字の広場 3 漢字の多義性	1	● 漢字の多義性についての理解を深める。	1 漢字の多義性についての理解を深め、熟語を正しく書き表す。		(1)ウ (1)エ◎		【知識・技能】 ◎多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 〔(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで漢字の多義性について理解し、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
12月	七	ガイアの知性	6 (話聞 1)	● 筆者が用いる語句の意味を捉える。 ● 自然や知性に対する筆者の考え方について、自分のもつ知識や経験と結びつけ、考えをまとめる。	1 「学びナビ」を読んだあと、全文を通読し、問題と主張の関係を把握したうえで、「鯨と象」「人間」の二つの「知性」の対比構造を捉える。 2 第一大段落の問題提起を捉え、第二大段落以降の解決に関わる重要語句を見いだす。 3 第二大段落「鯨や象」の「高度な『知性』」の実態を捉える。 4 第三大段落を読み、「攻撃的な知性」と「受容的な知性」の関係を捉え、筆者の提言・主張の妥当性について判断する。 * 「知性」という言葉の中で対比的なもの、類比的なものを図式化しながら整理することで、理解を深めるようにする。 5 筆者の主張に対する自分の意見を文章にまとめる。	ま	(1)エ	C(1)ア C(1)オ◎ C(2)ア A(1)ア A(2)イ	【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。〔C(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
		【書く】 確かな根拠をもとに意見文を書く	書 5	● 意見と根拠など、情報と情報との関係について理解する。 ● 適切な根拠を示して、自分の考	1 多様な考え方がある問題について題材を決め、探した材料を整理する。 2 文章の構成を工夫する。 3 根拠の適切さを考えながら、文章を書く。	ICT	(2)ア	B(1)ウ◎ B(2)ア	【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするな

				えが伝わる文章になるように工夫する。	4 反論の効果を確かめて、文章を整える。 *意見文の説得力を高めるためにふさわしい反論が取り入れられているかどうかを、ペアで検討させるようにする。 5 読み手の助言を踏まえて、自分の意見文のよい点や改善点を見いだす。				ど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。[B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。
1月	八	学ぶ力	4	● 筆者の述べる事実と主張の関係を捉える。 ● 構成や表現に着目し、理解したことや考えたことを自分の知識や経験と関連づけて広げたり深めたりする。	1 「学びナビ」を読んだあと、全文を通して読み、文章の構成や展開に注意して概要を捉える。 2 全文を提案・解説・例示の観点から整理し、「学ぶ力が伸びる」条件をまとめる。 3 筆者の主張から、自分の体験を思い起こしたり考えを深めたりする。 4 筆者の考えを踏まえて、自分の考えを文章にまとめ、他の学習者との交流をとおして考えを深める。	ま	(2)ア	C(1)エ C(1)オ◎ C(2)ア	【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。[2ア] 【思考・判断・表現】◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。[C(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】積極的に文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。
		【話す聞く】 さまざまな考えを踏まえ討論をする	話聞5	● 出された情報からそれぞれの立場や考えの共通点や相違点を捉え話し合う。 ● 相手の立場や考え方などを尊重しながら結論をまとめる。	1 「学びナビ」を読み、「さまざまな考えを踏まえる」ことを理解する。話し合いの進め方を理解し、社会生活の中から話題を決め、想定される立場を考える。 2 グループ内で異なる立場を設定し、役割を分担する。話題について自分の考えを整理し、まとめる。 3 話し合いの手順や留意点、評価の観点を確認する。グループで討論を行う。 *話し合う前に、早く結論づけたり、多数決で意見を決めたりするものではないことも含めて、目的を再度確認する。 4 別の立場や役割になったときの自分の考えを整理し、まとめる。	ま	(2)ア	A(1)オ◎ A(2)イ	【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。[2ア] 【思考・判断・表現】◎「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。[A(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】積極的に互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。

					5 行われた話し合いについて、グループごとに振り返る。				
		文法の小窓3 付属語のいろいろ 文法（解説）3 付属語のいろいろ	2	付属語にはどのようなものがあるのかを知る。	1 P239『文法の小窓3』を読んで、助詞の違いによる印象や意味の違いを考えるとともに、P301を読んで助詞の種類とはたらきについて理解する。 2 P303を読んで、助動詞のはたらきについて確認し、「考えてみよう」に取り組み、理解を深める。	ま	(1)オ◎		【知識・技能】 ◎助詞や助動詞などの働きについて理解を深めている。[(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に助詞・助動詞に興味・関心をもって働きを理解し、学習の見通しをもってその理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かし、適切に表現・理解しようとしている。
2月	九	豚	1	- 言葉のもつ意味やイメージに注意して読む。 - 言葉のもつイメージが詩の中でどう変化するかを考える。	1 連の構造や展開に注意しながら詩を読み、読んだイメージを交流する。 *各連で「豚」をさまざまな視点から言葉で捉えていること、および、それを「類比」や「対比」という方法で表現していることに注目させる。		(1)エ	C(1)イ C(1)オ◎ C(2)イ	【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)エ] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。[C(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。
		走れメロス	7	- 抽象的な概念を表す語句の量を増やし、自分の表現に役立てる。 - 登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。	1 学習目標を確認して「学びナビ」を読み、「語り手の位置」について理解する。全文を通読し、新出漢字や難意語句について理解する。 2 全体の構成を捉えとともに、第一場面、第二場面を音読し、状況（場面）設定や人物設定についてまとめながら自分の考えをまとめる。 3 第三場面、第四場面を音読し、できごとをまとめながら自分の考えをまとめる 4 第五場面、第六場面を音読し、メロスとセリヌンティウスの言動や心情、ディオニス	ま	(1)エ	C(1)ア C(1)オ◎ C(2)イ	【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)エ] 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。[C(1)ア] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。[C(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。

					の変化を捉えながら自分の考えをまとめる。 5 各場面について考えたことをペアやグループで交流する。 6 人称の変化が作品全体に与える効果について話し合う。 7 交流を通して語り方の特徴を踏まえて読みをまとめ、自分の考えを広げたり深めたりする。				
3 月	言葉の小窓 3 類義語・対義語・多義語・同音語 言葉（解説）3 類義語・対義語・多義語・同音語	1	● 日常の生活で使う言葉を、いつもと違った視点から捉え直す。	1 P269『言葉の小窓3』の会話文をもとに、類義語と対義語の意味や特徴を理解する。また P284 の解説を読み、日常生活の中から集めた多義語や同音語を調べたり、考えたりしてそれらの用法を知る。		(1)エ◎		【知識・技能】 ◎類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く類義語・対義語・多義語・同音語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。	
	【書く】 「連作ショートショート」を書く	書 5	● 表現したい内容に合った言葉を選び、語彙を豊かにする。 ● 物語の構成や展開を意識して書き、表現の工夫や効果について考える。	1 学習目標を確認し、「ショートショート」の特徴について知り、「不思議な言葉」を考える。 2 構成の役割をおさえ、表現を工夫しながら「設定」と「できごと」を分担して書く。 3 構成の役割をおさえ、表現を工夫しながら「山場」と「結末」を分担して書く。 4 表現の工夫とその効果などについて、よい点や改善点を伝え合い推敲する。 5 他のグループと作品を交換して読み合い、感想を交流する。	ま	(1)エ	B(1)オ◎ B(2)ウ	【知識・技能】 類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)エ] 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 [B(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に表現の効果を考えて、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。	
	漢字の広場 4 同音の漢字	1	● 同音の漢字についての理解を深める。	1 同音の漢字について理解し、身のまわりの同音語を見つける。		(1)ウ (1)エ◎		【知識・技能】 ◎同音異義語などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで同音の漢字について理解を深め、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。	

総時数 116 時間（うち、話すこと・聞くこと 15 時間、書くこと 30 時間）

※「月」は学習時期のおおよそのめやす。

※「配当時数」欄の（ ）内は、配当時数に占める「話すこと・聞くこと」「書くこと」の時数。

※本表に記載のない教材については、適宜扱う。